



CORPRATE PROFILE

会社案内



**SPECIAL TEAM
TO DRILLING HARDROCK**



目次 INDEX

かいしゃがいはよう

会社概要 Company Profile

株式会社オトワコーエイに関する情報
・会社情報・企業理念・代表挨拶 など

P 03 - P 04

コーポレートサイト
会社案内ページ
ダイレクト QR コード



しょうがいてつきよこうじ

障害撤去工事 Obstacle Removal Construction

新設工事に伴い地中の支障物を撤去する際に行う工事
・マルチドリル工法

P 05 - P 06

コーポレートサイト
障害撤去工事 各種工法ページ
ダイレクト QR コード



おーていーおーぶんかいがたこがたくいうちき

OTO® 分解型小型杭打機 OTO Disassemblable Compact Pile Driver

送電線基礎における基礎杭の設置や旧躯体の撤去を行う工事
・OTO® ドリル工法

P 07 - P 08

コーポレートサイト
OTO® 分解型小型杭打機
各種工法ページ
ダイレクト QR コード



かせつこうじ

仮設工事 Temporary Construction

建築・土木工事において一時的な山留めや仮構台などの設置を行う工事
・ロードドリル工法・吊り下げ式工法

P 09 - P 10

コーポレートサイト
仮設工事 各種工法ページ
ダイレクト QR コード



そのたとりあつかいとくしゅこうじ

その他取扱い特殊工事

Special Construction Method
・ダウンザホールハンマ工法 など

P 11 - P 12

へいしゃのとりくみ

弊社の取り組み Our Attempt

・会社沿革・保有重機・オトワコーエイの取り組み・お問い合わせ

P 13 - P 14

企業理念 Philosophy

先駆者であれ、挑戦者であれ。

我々はどんな難所も切り開く新しい技術を創造し、一丸となってお客様の課題解決に全力を尽くします。

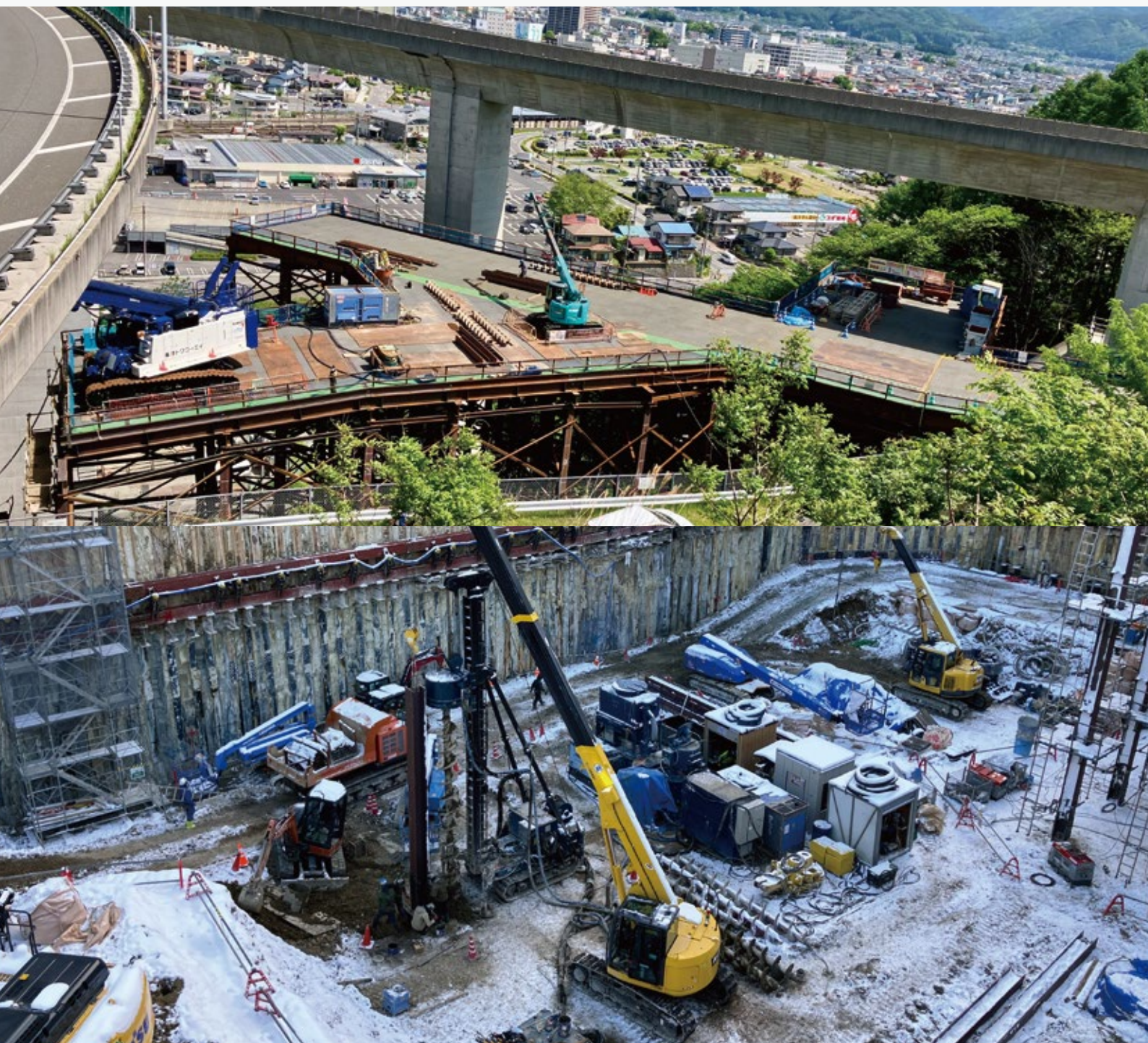
他社には施工が困難な特殊環境下における工事を実現するべく、私たちは常に新技術の開発・確実安全な運用に努め時代と共に変化するお客様のご要望に応じてまいります。

新技術とともに、新しい未来へ。

どんなに困難な現場でも、常に新しい技術や方法を追求し、他の誰も成し得なかった道を切り拓いていく。それが、私たちの誇りです。

私たちは、挑戦を恐れず、未知の領域に果敢に挑み続けることで、社会に貢献し続けます。技術の限界を押し広げ、業界をリードしていく先駆者であること。変化をチャンスと捉え、新しい価値を創造する挑戦者であり続けること。この姿勢こそが、オトワコーエイの成長と革新を支え、未来を切り拓く力となっています。

私たちの歩みは常に挑戦の連続です。そして、挑戦の先にある未来を、私たちは見据えています。



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は仮設工事の専門工事会社として静岡県沼津市に設立し、実績を重ね、お客様のニーズにお答えするとともに事業を拡大し、特殊基礎工事のエキスパートとして、責任を果たすべく社会貢献をして参りました。

これはひとえにお取引先をはじめとすご指導、ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

現在、国際情勢は大きく激変し、地球環境を取り巻く環境は悪化の一途を辿っています。人類共有の資産としての地球環境を守り改善していくために、今日まで培った経験とノウハウを活かして参ります。

今後とも皆様の温かいご支援、ご鞭撻を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

代表取締役 木村 能隆

会社概要 Company Overview

会社名 株式会社オトワコーエイ

基礎工事・土木工事関連事業

資本金 4,500 万円

創立 1978 年 4 月

従業員数 57 名

建設業許可証 国土交通大臣許可（般 - 5）第 22721 号

土木、とび・土工、石、鋼構造物、舗装、しゅんせつ、
水道施設、解体工事業

事業所 横浜本社 〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町 4-11-7 長者町朝日ビル 8 階

沼津本店 〒410-0308 静岡県沼津市柳沢 492

名古屋支店 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南 1-5-17 ネットプラザ柳橋 6 階

加入協会 ロアードリル協会、マルチドリル工法協会、送電線建設技術研究会、EAGLE 杭振興機構



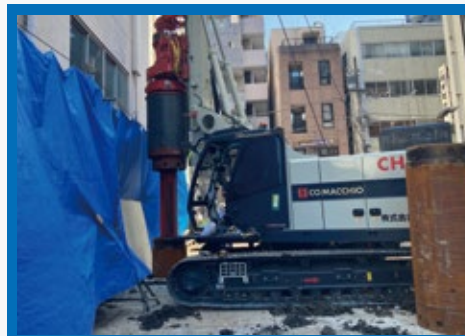
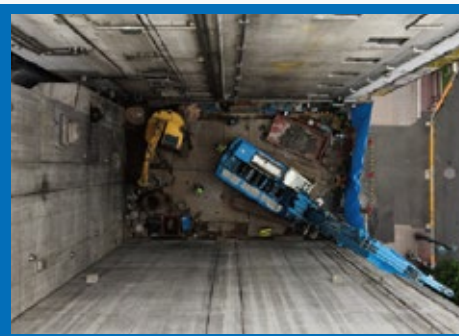
本社事務所（神奈川県横浜市）





建物の新築工事に伴って地中障害物や埋設物を取り除きたい場合に必要となるのが障害撤去工事です。
都市再生事業の増加に伴い、弊社ではマルチドリル工法による狭小地での施工を強化しております。

取扱工法 Handling Method



マルチドリル工法

工法カタログあり

施工実績や他の取り扱い工法については弊社ホームページをご覧ください。

コラム：狭小地での障害撤去を実現

弊社の独自施工ノウハウを活かした、各種コストの削減を実現する特殊な一気通貫施工をご提案いたします。

マルチドリル工法（障害撤去工事）

工法カタログあり

高い掘削性能を発揮する回転掘削装置を搭載した軽量コンパクトな『マルチドリル掘削機』を用いた地中障害撤去工法です。マルチドリル掘削機は障害撤去工事から場所打ち杭施工・プレボーリングと1台で複数工種への対応が可能です。



マルチドリル掘削機 SR-45（左）と CH 650（右）

対応掘削径 $\phi 800 - \phi 1,500$

本工法の特長

1 既存建物際・隣地境界線際施工

マルチドリル掘削機は掘削回転装置が機械前部に突出した形状をしている為、既存建物際 30cm まで接近して施工を行うことが可能です。

2 低重心設計

マルチドリル掘削機は回転掘削装置が通常の障害撤去工事で使用される三点式杭打機と比較して重心が下方にある為、重機転倒のリスクを大幅に低減しています。

3 コンパクトな機械構造

三点式杭打機の場合、組立に必要な作業範囲が 40m 程度必要かつ相番機が必要なことに対し、本工法では半分程度の範囲で短時間かつ自力で組立を行うことが可能です。

標準施工ヤード

18m x 12m (216 m²)

施工実績

横須賀火力発電所建設工事 他多数

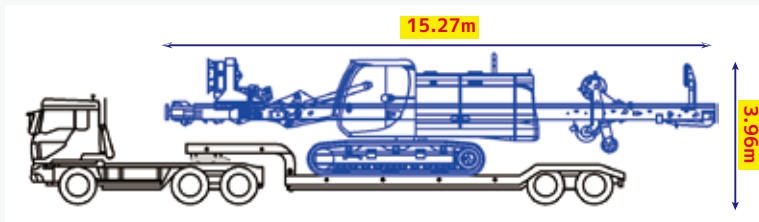
施工に必要な機材

マルチドリル掘削機・バックホウ・パワージャッキ・各種ツール など

狭隘地での障害撤去を実現

マルチドリル掘削機は三点式杭打機と比較してコンパクトな機械設計が特徴です。

弊社保有のマルチドリル掘削機「SR-45」は自立するリーダーを本体に搭載しております。また、掘削機本体に低床トレーラーにキャタピラを搭載した状態で積載することが可能な仕様となっています。そのため、**本体に付随する関連部材を含めた運搬時のコストの削減効果や組立解体時に発生するコスト・リスクの低減の効果があります。**



マルチドリル掘削機 (SR-45) 輸送時体勢

マルチドリル掘削機 (SR-45) 組立時体勢

山岳部での特殊な施工を独自技術で

OTO® 分解型小型杭打機 OTO Disassemblable Compact Pile Driver



コーポレートサイト
送電線基礎工事 各種工法ページ
ダイレクト QR コード



送電線基礎工事における一般重機の進入が困難な場所での搬入・施工を独自開発の機械を用いることによって実現。
特殊機材での運搬を想定し、全てのパーツが所定重量に満たない特殊設計の掘削機を開発し、運用しています。

取扱工法 Handling Method



OTO® ドリル工法

NETIS 登録あり 工法カタログあり

施工実績や他の取り扱い工法については弊社ホームページをご覧ください。

🔧 コラム：独自開発の OTO® ドリル

送電線基礎工事におけるニーズに応えるべく弊社にて独自開発を行った OTO® 掘削機についてご紹介いたします。

OTO® ドリル工法 (送電線基礎工事・仮設工事)

NETIS 登録番号: KT-190083-A

工法カタログあり

弊社独自開発の分解型小型杭打機『OTO® ドリル』を使用した山岳部での送電線基礎杭の打設に最適な特殊工法です。

全てのパーツが 3.0t 未満に分解出来ることが特長で、一般重機での搬入・施工が困難な場所に対しても施工を行うことが可能です。



OTO® ドリルを用いた抑止杭打設施工風景

対応掘削径 ϕ 350 - ϕ 800

本工法の特長

1 全てのパーツが 3.0t 未満に分解可能

『OTO® ドリル』は分解可能な 3.0t 未満のパーツによって構成されているため、モノレールやヘリコプターなどの特殊機材を使用した運搬が可能です。

2 選べる先端工法

本工法では掘削対象の地層に応じてスクリー掘削とダウンザホールハンマ掘削、またケーシング併用掘削など幅広く先端工法を選択することが可能です。

3 現場環境に応じたリーダー長の選定

『OTO® ドリル』は架空線の有無や既存送電線との離隔距離の問題等に応じて、リーダー長を 5.0m ~ 15.0m の内から段階的に選定することができます。

必要施工ヤード

8m x 10m (80㎡) 以上

施工実績

飛騨信濃直流幹線新設工事 他多数

施工に必要な機材

OTO® ドリル・減速機・相番クレーン・ミニバックホウなど

独自開発の OTO® ドリル

OTO® ドリルは『山岳部での送電線基礎工事などにおいて、一般重機の搬入が困難な場所での杭打ち施工を可能とする』をコンセプトに 2014 年、弊社にて開発を開始した分解型小型杭打機です。およそ 1 年間の構想を経て誕生したのが OTO®-Type1 でした。その後もお客様のニーズの変化に合わせて、2026 年の現在では OTO®-Type5 までの開発・運用が進んでおります。



『OTO® ドリル』3D モデル



OTO® ドリル 分解時各種部材



モノレール運搬風景



OTO® ドリル 短尺リーダー仕様

OTO® ドリルは現場条件に応じて、**分解した状態での搬入・現地に於ける組立に加え先端工法の選定やリーダーの構成を調整することができるため、様々な現場に採用されてきました。**

● 適用可能な現場環境



山岳部



狭陰地



橋梁下部



送電線下部



鉄道路線際



小型トラック



モノレール



ヘリコプター

● 特殊運搬器具の例

詳しくはオトワコーエイへお気軽にお問い合わせください。

山留工事から仮橋・仮構台工事まで幅広く

仮設工事 Temporary Construction

コーポレートサイト
仮設工事 各種工法ページ
ダイレクト QR コード



弊社では小規模な山留工事はもちろん、仮橋工事に伴う下部工・上部工も一連の施工を承っております。
特殊環境に対しての独自のノウハウ・施工実績を多数保有しており、お客様のニーズに柔軟に対応いたします。

取扱工法 Handling Method



ロードドリル工法

工法カタログあり



吊り下げ式工法

施工実績や他の取り扱い工法については弊社ホームページをご覧ください。

コラム：様々な特殊環境にも対応する高い技術力

弊社の長年培ってきた独自のノウハウを基に急傾斜地や高低差が大きな場所などの特殊な環境に対しても確実に施工を行うことが可能です。

ロアードリル工法

工法カタログあり

ターンテーブル型の『ロアードリル掘削機』を用いて仮設栈橋・構台杭や山留杭などを打設する工法です。地層に応じて掘削方法を選定でき、主に山岳部の急傾斜地や重機据付面と施工面に大きな高低差がある場合に威力を発揮します。



ロアードリル工法を用いた急傾斜地施工の様子

対応掘削径 $\phi 450 - \phi 610$

本工法の特長

1 急傾斜地施工

本工法では重機据付面と施工面に大きな高低差がある場合にも、クレーンと施工箇所を設置したロアードリル掘削機を併せて用いることで施工を可能としました。

2 低重心設計・高精度施工

回転機構が一般工法と比較して、低い位置にあるため杭芯ズレが発生しにくく、急傾斜地において確実な施工を求める場合には最適な工法です。

3 段取替えの効率化

栈橋工事では1台のクレーンで掘削から架設までの一連の施工を行うことができるため、従来工法と比較して段取替え時間を短縮し、より効率の高い施工性を発揮します。

標準施工ヤード

ご相談下さい

施工実績

新東名高速道路 各種工事 他多数

施工に必要な機材

ロアードリル掘削機・相番クレーン・導棒材・各種ツールズ など

吊り下げ式工法

急傾斜地や広大な作業半径を必要とする現場において、減速機をベースマシンに吊り下げて掘削を行う工法です。吊り下げた状態の減速機から反力ワイヤーを既存の固定物に対して張り出して掘削反力を確保することが特長です。



吊り下げ式工法を用いた急傾斜地施工の様子

対応掘削径 $\phi 250 - \phi 800$

本工法の特長

1 急傾斜地施工

本工法では重機据付箇所と施工箇所が大きく離れている場合などに威力を発揮します。急傾斜地においても導棒を設置することにより確実な施工を実現します。

2 ケーシング併用特殊工法が適用可能

ロアードリル工法では適用することができない『リングビット工法』や『拡径ビット工法』の適用が可能であり、砂層などの崩壊層に対する施工も可能となりました。

3 段取替えの効率化

ロアードリル工法と同様に1台のクレーンで掘削から架設までの一連の施工を行うことができるため、従来工法と比較して、より効率の高い施工性を発揮します。

標準施工ヤード

ご相談下さい

施工実績

新東名高速道路 各種工事 他多数

施工に必要な機材

減速機・相番クレーン・導棒材・各種ツールズ など

ダウンザホールハンマ工法

先端工法

硬質地盤掘削

山岳部に多く見られる岩盤層や硬質地盤層を迅速に破碎・掘削することが出来ることが特徴の工法。超硬ビットを先端に取り付けたパーカッションハンマーに圧縮空気を供給し、打撃運動を生むことで対象物を破碎し、エアブローにて排土を行います。



ダウンザホールハンマ

対応掘削径

最大 ϕ 800

本工法の特長

1 硬質地盤を効率的に掘削

通常のオーガスクリーナなどでは掘削が困難な硬質地盤層に対し、強力な打撃を加えることで効率的・迅速に対象物の破碎・掘削を進めることが可能です。

2 幅広いベースマシンの選定・併用工法

大型のラフテレーンクレーンから小型のOTO®掘削機まで施工環境に応じた幅広いベースマシンの選定が可能です。加えて地層条件に応じて併用工法の適用が可能です。

3 複雑な地層には特殊な併用工法を

本工法と併用可能な工法としてリングビット工法・拡径ビット工法があります。これらは崩壊層や孔内水位が高いといった複雑な地層に対しての施工を可能としています。

標準施工ヤード

併用工法に依存

施工実績

山岳部工事を中心に実績多数

併用可能な工法

ロードドリル工法・吊り下げ式工法・アポロン工法 他多数

リングビット工法

先端工法

硬質地盤掘削

崩壊層に対応



リングビット付き鋼管

特殊形状のダウンザホールハンマビットを使用し、鋼管を併用し孔壁を保護しながら掘削をすることが出来ることが特徴の工法です。掘削原理は通常のダウンザホールハンマ工法と同様ではあるものの、鋼管の先端に特殊形状の超硬ビットを装着します。

鋼管を正回転・逆回転させることでハンマビットとの着脱が可能な為、正回転にて掘削を進め、所定掘削深度で逆回転をさせることでハンマビットから鋼管・リングビットを離脱することが出来ます。鋼管を地中で離脱させ残置することで孔壁の崩壊を防止する孔壁保護の役割を持たせて確実な掘削を行うことが出来ます。

本工法の特長

1 崩壊層や孔内水位の高位な場所の施工が可能

施工実績

新東名高速道路（山静地区）関連工事を中心に実績多数

拡径ビット工法

先端工法

硬質地盤掘削

崩壊層に対応



拡径ビット 拡径時（左）・収縮時（右）

特殊形状のダウンザホールハンマビットを使用し、鋼管を併用し孔壁を保護しながら掘削をすることが出来ることが特徴の工法です。掘削原理は通常のダウンザホールハンマ工法・リングビット工法と同様です。

鋼管を正回転・逆回転させることで先端が拡大・収縮する特殊なハンマビットを用います。正回転の状態では鋼管と共に掘削を行い、所定掘削深度で逆回転することでビット先端を収縮し鋼管を地中に残置することが出来ます。一般層・岩盤層に加え玉石層や転石層、孔内水位が高位な場所に対しても掘削が可能です。

本工法の特長

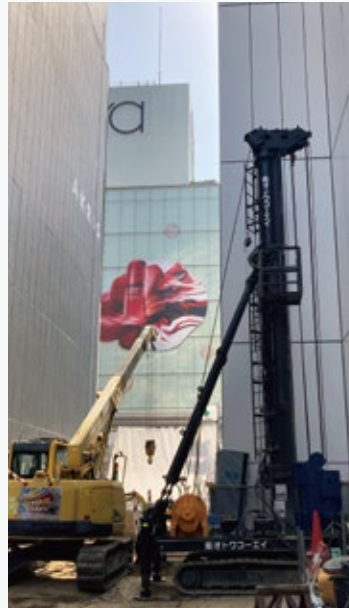
1 崩壊層や孔内水位の高位な場所の施工が可能

施工実績

河川工事や崩壊層を多く含む山岳部の工事を中心に実績多数



神奈川県足柄上郡（仮橋工・他多数工種）



東京都中央区
（OTO®ドリル工法）



東京都渋谷区
（マルチドリル工法）



愛知県豊田市（ロードドリル工法）



当社ではこれらの特殊工法・一般工法以外にも様々な工法を取り扱っております。
また各工法において熟練したノウハウも有しており、お客様のニーズに合わせた柔軟なご提案をすることが可能です。
杭工事・仮設工事・地中障害撤去工事にお困りの際には是非一度お気軽にご相談ください。 ※お問い合わせ情報は P12 へ



様々な特殊環境にも対応する高い技術力

弊社には仮設工事をはじめとして基礎杭工事・障害撤去工事における独自の施工ノウハウを豊富に蓄積しております。**急傾斜地や狭隘地・空頭制限地、特殊な地層条件・環境条件など、他社では施工を行うことが困難な環境でも、それらのノウハウを活かし弊社にしか出来ないご提案をさせて頂くことが可能です。**お困りの際は、是非お気軽にお問い合わせください。



急傾斜地



狭隘地



壁際・隣地境界線際



空頭制限地



河川・海上



硬質地盤用 ダウンザホールハンマ

新技術とともに、新しい未来へ。

会社沿革 History

- 1978年 ● 仮設工事専門業者として先代が前身となる会社を静岡県沼津市に創立。パイプロハンマー工法専門業者として発足。
- 1997年 ● 「ダウンザホールハンマ工法」「ロードドリル工法」の取り扱いを開始し仮設橋工事・現場造成杭工事に着手。
- 2004年 ● 『株式会社オトワコーエイ』（現社名）へ社名を変更。小島一彦が代表取締役社長へ就任。
- 2005年 ● 『横浜営業所（現 横浜本社）』を設立。
- 2008年 ● 建設業登録・国土交通大臣許可を取得。
- 2014年 ● 『OTO 分解型小型杭打機』を自社で開発し、山岳部での鉄塔事業に着手。
- 2021年 ● 『名古屋営業所（現 名古屋支店）』を設立。『OTO®』特許庁への商標登録完了。
- 2022年 ● JFE スチールグループ・ジェコス株式会社の子会社となる。
- 2024年 ● 木村能隆が代表取締役に就任。

保有機械 Owned Machinery

- 100t クローラクレーン
- 90t クローラクレーン
- 70t クローラクレーン
- 75t テレスコクレーン
- 60t ラフタークレーン
- 50t アボロン
- 25t ラフタークレーン
- 4.9t クローラクレーン
- 4.9t ヘビークローラクレーン
- 2.9t カニクレーン
- マルチドリル掘削機
- OTO® 掘削機
- ロードドリル掘削機
- ゴンドラ
- 建柱車
- 0.7㎡バックホウ
- 0.15㎡バックホウ
- 25t 用多滑車
- 4.9t 用多滑車
- 5t フォークリフト
- 油圧・電気減速機
- パイプロハンマ
- 各種ケーシング
- ロックケーシング
- スクリューロッド
- アボロンリーダー
- リング・拡張ビット
- 各種ダウンザハンマー
- 各種ヘッド
- 各種マルチドリル用先端ツール
- ウェルダ
- コンプレッサー
- ナノキャッチャー
- レシーバータンク
他多数



■ オトワコーエイの取り組み Our Attempt

👤 安全教育の実施



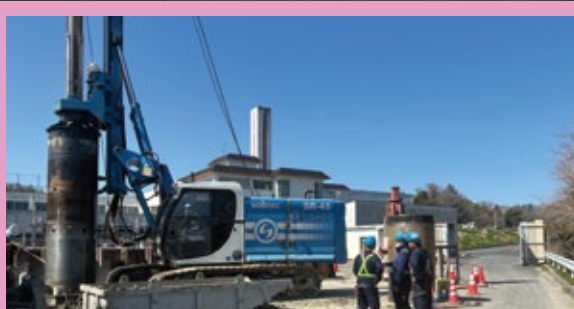
弊社では毎月の安全大会に加え、定期的な安全教育会や現場管理会を実施し、作業員の日々の安全意識の向上に努めております。

🚧 外国人実習生の積極的雇用



弊社では外国人実習生の雇用にも積極的に力を入れており、2026年現在10名の外国人労働者が仲間として活躍しております。

⚙️ 安全パトロール



弊社では職員が定期的に現場を巡回し、各現場の安全意識や取り組みを確認するとともに、その情報を社内でも共有してよりよい現場を目指し続けています。

👤 新人教育・技術的教育の実施



工事のスペシャリストを育むため、また安全かつ円滑に工事を進めるため、ベテラン社員による新人教育も徹底して行っております。

■ お問い合わせ CONTACT

横浜本社

YOKOHAMA

〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町 4-11-7
長者町朝日ビル 8階

☎ 045-315-3301

📠 045-315-3302

沼津本店

NUMAZU

〒410-0308 静岡県沼津市柳沢 492

☎ 055-967-5797

📠 055-967-5868

名古屋支店

NAGOYA

〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南 1-5-17
ネットプラザ柳橋 6階

☎ 052-526-7501

📠 052-526-7502



スマホから
かんたん
お問い合わせ
弊社ホームページ
お問い合わせフォーム

杭工事・仮設工事・地中障害撤去のことは弊社にお任せ！
『オトワコーエイ』にいつでもお気軽にご相談ください！

※お電話でのお問い合わせは各営業所の営業時間内での受付となります。 ※お問い合わせフォームからのお問い合わせは24時間受付です、
※お問い合わせフォームより頂いた内容は担当者が内容を確認したのち、3営業日以内に折り返しのご連絡を差し上げます。



株式会社 オトワコーエイ
基礎工事・土木工事関連事業

〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町 4-11-7
長者町朝日ビル 8 階

横浜本社		TEL. 045-315-3301
沼津本店		TEL. 055-967-5797
名古屋支店		TEL. 052-526-7501

www.gecoss.com/otowa

オトワコーエイ

検索

弊社ホームページ



www.gecoss.com/otowa/

Instagram



@OTO_WA1978

JOIN US



Specifications shown are only indicative and subject to alterations without prior notice